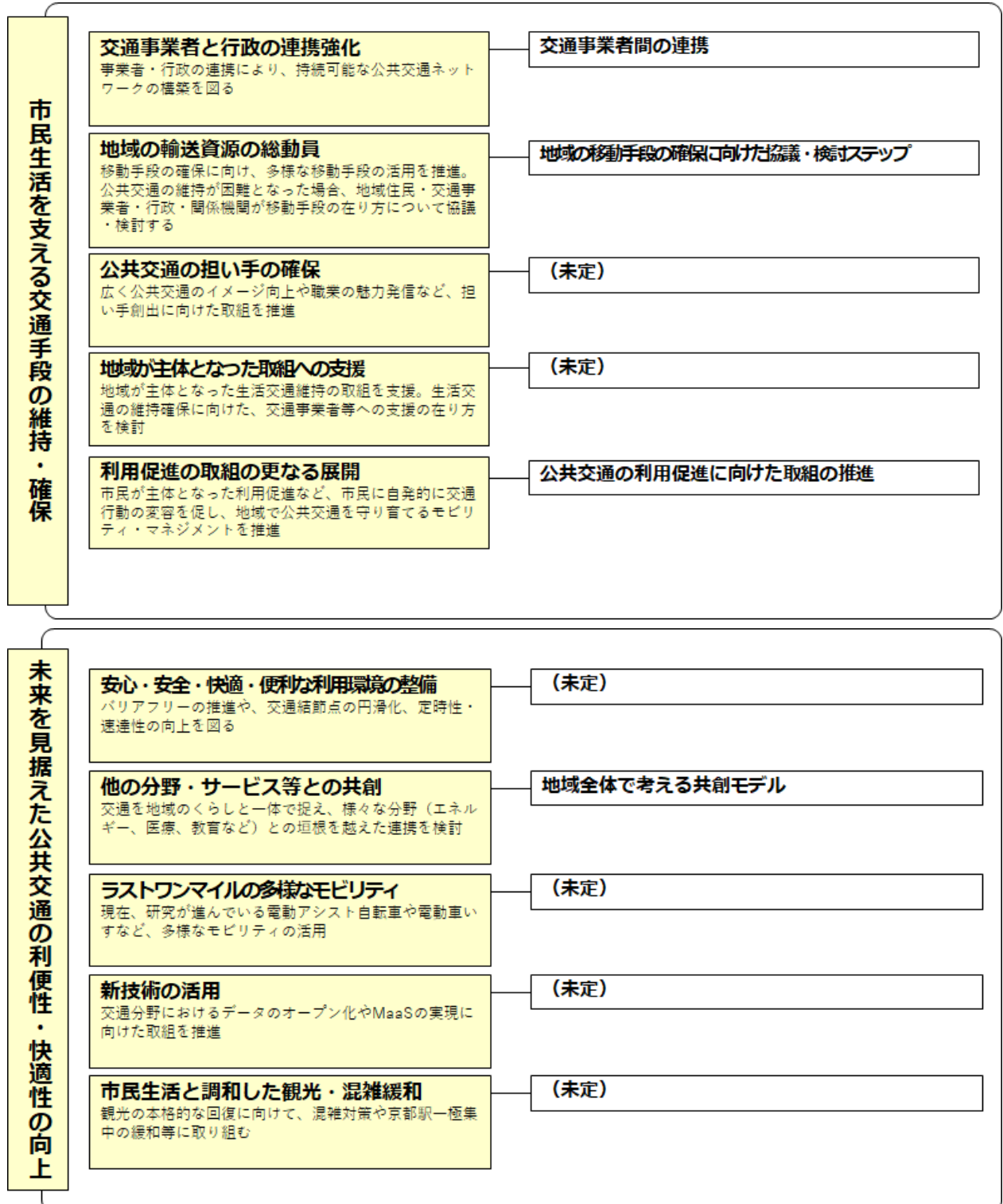



京都市地域公共交通計画に基づく今後の取組について（イメージ）

京都市地域公共交通計画の理念に掲げる「①市民生活を支える交通手段の維持・確保」及び「②都市の未来を見据えた公共交通の利便性・快適性の向上」の実現に向けて、地域の実情や課題、本協議会等での議論も踏まえながら、具体的な取組について検討していく。



1 交通事業者と行政の連携強化

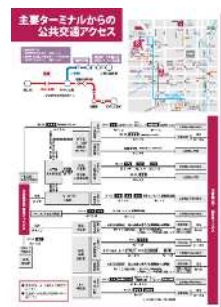
取組名	交通事業者間の連携						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の進展やコロナ禍による利用者の減少、長期的な担い手不足など交通事業者が厳しい経営環境におかれる中、事業者間の更なる連携を図り、効率的で持続可能な交通体系の構築を図るとともに、ダイヤ・運賃制度等を含めた利便性向上策を推進します。 ・ この間、取組を進めてきた、バスの運行ダイヤの調整、共同運行や運賃制度の共通化について、更に検討を進めることで、限りある輸送力を効率的に活用し、本市域内における生活交通の維持・確保を図ります。 ・ さらには、公共交通における案内の多言語化や、事業者の垣根を超えた時刻表・路線図の統一を進めるなど、案内の充実にも取り組むことで「分かりやすさ」の向上を図ります。 ・ 特に、現在4つの事業者が運行を担う西京区洛西地域では、国の支援制度である「地域公共交通利便増進事業」の活用も検討します。 						
実施主体	京都市、 交通事業者	スケジュール (年度)	R6	R7	R8	R9	R10
			連携の在り方検討・関係者間での協議				
			取組の実施				
			地域公共交通利便増進実施計画の策定	洛西地域における地域公共交通利便増進事業の実施			
実施エリア	都心部や周辺部を中心に、複数事業者が運行を担っている地域						
実施に当たっての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組に要する費用の負担（行政・事業者） ・ 取組実施後の維持・管理（路線図・時刻表など） 						
現時点の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のバス事業者で、系統の共同運行やパターンダイヤ化を実施 ・ 複数の鉄道・バス事業者で共通利用できる定期券やフリー乗車券の発売 ・ 公共交通案内情報の統一化指針を策定し、各事業者において案内の分かりやすさの改善を実施 						
							

2 地域の輸送資源の総動員

取組名	地域の移動手段の確保に向けた協議・検討ステップ						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合に、地域の関係者による協議を経たうえで、自家用有償旅客運送などの代替サービスの確保の必要性及び方策を検討します。 具体的には、バス路線の存続に関する相談等を本市が受けた場合、代替となる輸送サービスを確保するまでの検討フローの策定を進め、地域、行政、交通事業者のそれぞれが取り組むことについて明確にします。 						
実施主体	京都市、交通事業者、 地域住民	スケジュール (年度)	R6	R7	R8	R9	R10
実施エリア		主に中山間地域					
実施に当たっての課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たな輸送サービスを決定するための評価基準等 (地域主体の輸送サービスの場合) 担い手の確保 地域内の合意形成 						
現時点の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域旅客運送サービス継続事業 (国の支援制度) 自家用有償旅客運送による輸送サービスの確保 (京北ふるさとバス、久多やまびこ号、水尾自治会バス) 検討フロー (イメージ) 						

3 市民が主体となった利用促進

取組名	公共交通の利用促進に向けた取組の推進						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な交通ネットワークを構築するに当たっては、公共交通の利用者の増加を図ることが何よりも重要です。 これまで公共交通を利用していない層も含め、広いターゲット層に公共交通の利便性や必要性を訴求し、公共交通の利用増につながる「モビリティ・マネジメント」の取組を推進します。 <p>(ターゲット層のイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> » 大学生 » 子育て世代 » 自家用車利用者 など <p>(参考：モビリティ・マネジメント)</p> <p>「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組。</p>						
実施主体	京都市、交通事業者、 大学生、企業、団体等	スケジュール (年度)	R6	R7	R8	R9	R10
			既存の取組内容の拡充検討・実施				
			新たな取組内容の実現に向けた検討・実施				
実施エリア	都心部、周辺部、中山間地域のそれぞれの地域特性を活かして実施。						
実施にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> 取組に要する費用の負担（行政・事業者） 実施主体間の合意形成 						
現時点の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 大学等で、路線バスや地下鉄のパンフレットを配布し、入学後の公共交通の利用を促進 大学生の通学定期券の利用区間に均一運賃区間を含む場合、均一運賃区間内が乗り降り自由。 京都市内の交通事業者 10 社局で保護者（父母等）が同伴する場合の幼児全員の運賃を無料化 車内混雑時を除き、ベビーカーを折りたたまずに乗車可能なことをPR 子育てタクシードライバー養成講座課程を修了したドライバーが専門に乗務する、子どもやその保護者、妊娠中の方にも優しいタクシーの運行 毎月16日を「ノーマイカーデー」とし、企業・学校等の従業員の通勤をマイカーから公共交通に転換するよう呼び掛け 						



出典：NPO法人「歩くまち・京都」フォーラム



出典：全国子育てタクシー協会 HP

4 他の分野・サービスとの連携

取組名	地域全体で考える共創モデル					
<p>取組内容</p> <p>人口減少やコロナ禍により利用者が減少し、交通事業者が厳しい経営環境におかれる中、交通ネットワークの維持に向け、交通事業者間の連携に加え、交通を地域のくらしと一体で捉え、商業や医療や教育等の交通以外の分野や行政と連携して、地域全体で取り組むことが必要です。</p> <p>路線バスを活用した貨客混載など、京都市内における既存の共創事業について、公共交通の利用促進や新たな収益創出に向けた拡充を検討します。</p> <p>(検討イメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーの荷物配送サービスにおける公共交通の活用 スクールバスや病院送迎バスの一般利用(混乗) 						
<p>実施主体</p> <p>京都市 交通事業者 商業施設、医療施設、観光施設、学校、地域住民等</p>	<p>スケジュール</p> <p>(年度)</p>	R6	R7	R8	R9	R10
		<p>既存の共創事業の拡充検討・実施</p>				
		<p>新たな共創事業の実現に向けた検討・実施</p>				
<p>実施エリア</p>	<p>都心部、周辺部、中山間地域のそれぞれの地域特性を活かして実施。</p>					
<p>実施に当たった課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取組に要する費用の負担(行政・事業者) 実施主体間の合意形成 					
<p>現時点の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス車両を活用した貨客混載事業(京都市、兵庫県神戸市など) スクールバスの一般住民の混乗利用(京都市京北地域、埼玉県飯能市など) 買物や病院受付等の代行サービス(京都市、神戸市) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="464 1424 772 1630"> </div> <div data-bbox="395 1646 890 1899"> </div> <div data-bbox="1011 1447 1310 1861"> </div> </div>					